

豊川稲荷表参道商店街 ファサード改修景観整備事業



豊橋技術科学大学建築・都市システム学系松島史朗研究室

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
TEL 0532-44-6997
URL <http://mlab.ace.tut.ac.jp/>

愛知県豊川市に位置する豊川稲荷表参道商店街は、栄えていた昭和30年代ごろの活気を取り戻すべく、豊川稲荷門前町らしい商店のファサードを復活させることを目標に、平成18年度より商店街や行政、大学と協働した店舗ファサード改修を行っています。

この店舗改修は商店街の共通の財産として、デザイン案は大学の学生が主体となり作成するが、最終デザイン決定までに施主に加え、まちの店主や行政、商工会議所、開発ビル(TMO)など商店街に関わる様々な立場の人がデザインの審議を行います。

事業が始まりすでに9年目になりますが、これまで継続してこれたことは、長年に渡る信頼関係と商店街全員で作上げたという一体感が生み出された結果だと思います。

現在までに表参道商店街全店舗の約25%に当たる13軒の改修を行い、ここ数年、観光客の増加も認められ、景観整備の評価も上々です。

また、豊川市から表彰を受けるなど、この景観整備事業を通して商店街がひとつとなり、地域コミュニティの結束とより良い景観への意欲向上にもつながっています。さらに外部からの出店者も加わることで、これまでになかった多様性を持つ新たな景観が形造られています。

そうした中、大学はかつての商店街の街並みを再生するのではなく、デザインガイドラインに沿いながらも、各々の店舗がより特色ある個性を発揮し、商店街全体が元気になるようなデザインを行っています。また、景観整備事業だけでなく、まちの定例会合“木曜の会”やお祭り“いなり楽市”への参加を通して、自分たちの好きな建築設計を通じて地域へ貢献できる貴重な機会となっています。

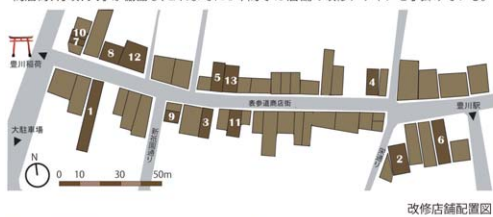
この表参道商店街のように元気な活動が、現在の地方商店街の活性化に求められており、全国のモデル商店街としてこういった活動を発信することを期待しています。



いなり楽市

豊川稲荷表参道商店街景観整備事業

商店街、行政、大学が協働し、これまでに8年間で13店舗の改修デザインを手掛けている。



改修店舗配置図



改修店舗13軒